



各 位

会 社 名
代 表 者 名

2020年11月10日
東京計器株式会社
取締役社長 安藤 毅
(コード番号 7721 東証第一部)
取締役 執行役員
コーポレート・コミュニケーション担当 上野山 素雄
(TEL 03-3732-2111)

問合せ責任者

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年8月11日に公表した2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2021年3月期 連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 45,500	百万円 1,510	百万円 1,650	百万円 1,180	円 銭 72.08
今回修正予想（B）	43,000	800	940	620	37.83
増 減 額 （ B - A ）	△2,500	△710	△710	△560	—
増 減 率 （ % ）	△5.5	△47.0	△43.0	△47.5	—
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	47,440	1,875	2,011	1,425	86.76

2. 修正の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、8月11日に公表しました業績予想に対し、売上高につきましては、油空圧機器事業の主要市場の回復が2022年3月期上半期にかけて中国市場をはじめとして緩やかに回復するものと見込まれているものの、自動車産業での需要の大幅な落ち込みなどによりプラスチック加工機械市場や工作機械市場において足元での需要の力強さが見られず、回復が予想以上に遅れそうなことから前回発表を下回る見込みであります。一方、利益につきましては、販売費及び一般管理費の削減に努めるものの、売上高の減少及び原価率の悪化により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表を下回る見込みであります。なお、セグメント別では、油空圧機器事業が売上高の減少等により営業損失となる見込みであるものの、それ以外の報告セグメントは通期業績への影響は第1四半期に続き限定的であるため営業利益を確保する見込みであります。

※上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上